

日工は、製品を安心して使用していただけるように、充実したアフターサービスを提供しています。全国に展開するサービスネットワークに加え、トラブルを未然に防ぐ定期検診、技術者を養成するプラントオペレータ研修を実施しています。これまでのアナログ型のプラントメンテナンスは、故障後に修理する事後保全およびサービスマンの経験と勘に依存する予防保全が柱でした。現在は、最先端の測定機器と通信ネットワークを使った次世代型予防・予知保全の確立と新しいサービスモデルの導入に取り組んでおり、新たな顧客価値の創造を目指しています。

デジタルトランスフォーメーションによる新たな価値創造

道路舗装や建築現場の生産性向上には、アスファルトプラントやコンクリートプラントの安定稼働が不可欠です。そのためには、保守・保全の必要性を事前に関知して、プラントの稼働状態が不安定になる前に必要な処置を施すことが重要

です。日工ではこうした課題の解決のため、プラント稼働状態を遠隔で監視し、データ分析に基づく故障予兆を捉え、事前に必要な部品交換や修理を実施します。

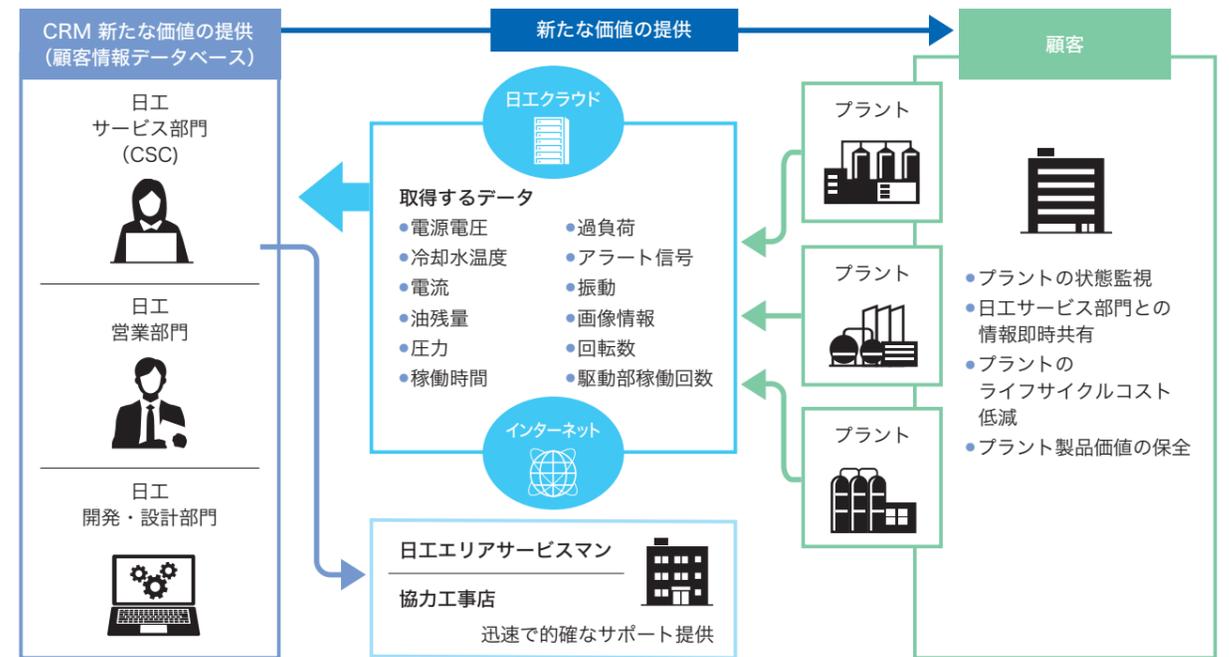


ユーザープラントの様々な稼働情報や検診データ、修理・工事履歴を日工クラウドに蓄積し、稼働状態を可視化することで適正な事前保守提案が可能となります。故障発生後の事後対応では、稼働停止が必要となり生産効率が著しく低下します。プラントの稼働情報に加えて設備環境情報も収集・分析することで問題発生の原因を細かく特定できます。蓄積し

たデータ分析による故障予兆報告書を提供、ライフサイクルにわたる保全計画の策定に活用していただけます。

稼働状態を可視化することで、異常発生時にはリモート接続で障害情報の分析を通じて障害箇所の特定もできることから、サービスエンジニアの到着を待たずに原因究明が可能となり、復旧に要する時間を大幅に短縮することができます。

●次世代型予防・予知保全サービス



定額制サービスの導入とお客様のコストパフォーマンスへの貢献

次世代型予防・予知保全サービスの提供に合わせて、従来のリカバリー案件毎の料金設定に替えて定額料金の導入を進めています。長期の事前保守計画提案に基づく対象設備の定

期修理や部品交換を行って、維持管理コストの軽減や事後復旧型の緊急修理事案の低減によってお客様のコストパフォーマンスの改善に貢献します。

ライフサイクルサポートを実現する“One Nikko Platform”

お客様と日工をつなぐ新たなCRM（顧客情報データベース）の構築を進めています。次世代型予防・予知保全サービスで蓄積されるビッグデータを活用、日工のバリューチェーンを通じてお客様のプラントライフサイクルマネジメントを

サポートすると同時に新たな製品開発につなげていきます。お客様との接点を対面に加えてデジタルスペースにおいても拡充することで新たな価値を創造します。

●お客様と日工をつなぐ “One NIKKO Platform”

